

中耳炎と水泳



水泳は、健康のためには最良のスポーツです。学校の授業として水泳が義務づけられ、又、水泳教室も盛んです。喜ばしい現象です。然し、耳鼻科専門医としては、無制限に水泳を許可する事は出来ません。

中耳炎の患者さんに対する、「水泳許可」・「水泳禁止」の、医学的な決まりはありません。耳鼻科医によって、多少、見解の異なる事があります。以下、中耳炎と水泳との関係について、私の考えを説明いたします。御参考にしてください。

- | | |
|------------|--------------------------|
| 【水泳禁止】 | 急性中耳炎、外耳炎で治療中の時。 |
| | 滲出性中耳炎でチューブを入れて間がない時。 |
| | 慢性中耳炎で耳だれが出ている時。 |
| 【水泳許可】 | 急性中耳炎がなおってから 1 週間以上たった時。 |
| 【耳栓して水泳許可】 | 滲出性中耳炎でチューブを入れて半年以上たった時。 |
| | 慢性中耳炎でも耳だれが出ていない時。 |

『耳栓は薬局か、水泳用品を売っている店においてあります。』

中耳炎が一応なおり水泳許可をした時に、「泳いでも中耳炎にはなりませんね？」という質問は困ります。「スキーで骨折がなおった時に、スキーをしても、もう骨折はしませんね？」という質問と同じです。耳鼻咽喉科専門医も責任をもって答えられない質問です。

泳ぐよりは泳がない方が耳のためには安全です。しかし、学校の水泳は授業としてあるので、私は中耳炎がなおったら、なるべく水泳を許可するようにしています。

くりかえしますが、【水泳許可】は、【中耳炎にはならないという保証】ではありません。

泳いだ後で水がとれなかったら、耳鼻咽喉科専門医の診察を受けてください。

水泳教室について。

水泳が出来るということは、人生にとって大きな財産です。その時点で、耳に病気がなければ水泳教室への入会は問題ありません。その後、耳の病気になったら仕方ない事だとあきらめて頂くよりほかないでしょう。

矢野耳鼻咽喉科	藤沢市善行 1-25-11	8 1	3 5 4 1
医学博士	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野	潮
	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野	ゆかり
	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野	さゆり